

東白川村 美しい村づくり 委員会

第54回

○場 所：ふれあいサロン

○時 期：令和3年4月27日 19:00～21:00

○参加者：委員4名 一般2名 行政4名

○新型コロナ対策を実施して開催しました。（マスク、手消毒、体温チェック、常時換気）

当初、交流会の予定でしたが、新型コロナ対策（県指針）を受け定期委員会に変更となりました。

第1 村長あいさつ

本日は委員会の運営・活動内容について話し合います。委員会は、①住民参加の場②交流・対話の場③学びの場を目的としています。また、東白川村がんばる地域補助金の利用促進の場ともなっています。引き続き行政と住民と移住者との多様な交流活動をお願いします。

第2 「集落あるもの探し」について

宮代地区を4月19日に案内役の安江辰也さんのもと、事務局1名（樋口）で実施しました。作成マップを見ながら報告を行いました。次回は大口地区となり、全地区実施完了となります。

第3 移住者サポートについて

村づくりにおいて、移住定住・移住者へのサポート（世話役）を官民協働で活動する重要性を委員会で共有しており、「移住定住交流」は委員会において重要なミッションとして動き始めました。しかし、新型コロナ対策

として交流イベントの中止が続いています。

1 状況報告

役場担当者（高野さん）より、令和3年度4月の移住定住施策の報告を行いました。

- ・ 物件情報を村ホームページに3件アップ。
- ・ 1日に2件～6件の問合せがつづく。
- ・ 物件見学10件実施、また予約も数件ある。
- ・ 寄附物件へのエントリーがある。
- ・ 業界系の方から、物件の問合せあり。
- ・ 移住者は4世帯。
- ・ 5月も物件情報を村ホームページに2件アップ予定。
- ・ 前年度は年間40件の空き家対応をおこなった。空き家総数の約1/3が対応済となる。

委員会活動として、交流会を実施し、新規移住者へのケア（アソシエーションの創出）を行いたい。（事務局）

第4 令和3年度の委員会の取組みについて

1 意見

- ・ 「日本で最も美しい村」連合の担当者会議が本日あり、そこで行われた講義の中での一部を紹介します。

「美しい村」を実現するための学習は、住民参加で学ぶことです。学ぶ内容は、景観保全・活用、再生可能エネルギー、美味しい村開発、ツーリズム交流・促進の4点となっています。また、持続可能な地域を実現するためには、移住定住促進は必須となるとのことでした。

今後も情報等をお伝えしていきます。委員会では「持続可能な美しい村づくり」をテーマに、学びと対話を実施していきたいと考えています。（事務局）

- ・ 地域活性化には空き家利活用が重要。空き家への増税で利活用の活性化を

すべき。(笹俣さん)

- ・先進的取組を京都市と神戸市が行っています。また、課題が多く難航しているようです。(事務局樋口)
- ・「交流」は行政が関与せず、住民活動で行うべきで、移住者や移住希望者との交流活動は、地域住民が自主的に活動しないといけない。(笹俣さん)
- ・これまでの委員会視察先では、住民主体の事例ばかりでした。(事務局樋口)
- ・住民主体の地域づくり活動ができるよう、一人ひとりが「力」をもたなくてはいけない。白川町黒川地区では、昨年 10 世帯ほどの移住があった。その大きな要因のひとつは、既に住んでいる先輩移住者が人を惹きつけている。(笹俣さん)
- ・東白川村にも、そのような事例がありますね。(事務局樋口)
- ・美しい村連合の登録資源はなんでしょうか？(野村さん)
- ・「白川茶文化」と「東濃ひのき」の里です。(事務局樋口)
- ・そういった「美しい村連合」の基礎情報から、住民の方は知らないと思うので、伝える活動が重要です。(野村さん)
- ・はい。今後、チラシなどを作成し広報していきます。(事務局樋口)
- ・美しい村連合による地域の審査項目の中でも、「経済的自立」が重要な項目となっています。自立経済、地産地消、地域内循環という視点です。経済的自立がないと、持続可能な景観保持は困難です。(事務局樋口)
- ・お茶オーナー制度などで景観維持ができないか。(事務局居石)
- ・何を学びたいかを、住民から聞き取り、学ぶ内容を選択するべきではないか。(高野さん)
- ・東白川村美しい村づくり講演会の講師をして頂いた湊澤寿一さんから「10年後の未来」を描く活動の宿題がでていました。そのほかに、現在と10年後の財政状況について、地域内循環指数の調査もありました。(事務局樋口)
- ・「学び」のまえに、現状とニーズを「知る」ことが先では。(早勢さん)

- ・ 民間同士の交流も必要。また、オンラインや録画配信、日中に開催、茶畑から中継、お茶を飲みながらなど楽しい情報発信や農家さんなどのお話しが聞けるといい。(早勢さん)
- ・ 次回は村の若い茶の関係者から話しを聞こう。(笹俣さん)
- ・ いいですね。録画編集するといい。(高野さん)
- ・ 行政では、専門家や村内関係者としてしっかり調査・研究・計画・実施を行っているので、まず役場担当者(企画財政係長)から伺いましょう。(村長)
- ・ 5月中旬にお茶の学習会を実施します。(事務局)

**【次 回】 5月26日(水) 19時~ 場所：ふれあいサロン
テーマ「白川茶文化について」**





54回 美しい村づくり委員会

(前年40件対応)

移住定住 3件UP

④月 → 2~6件問合せ/日
見学10件、予約も。

⑤月 → 2件
(キツ) エントリーあり → 選考(5月)
(売見) インフルエンサーから。

1件
(売見) 移住者 4世帯

交流会とかで... サポートとかは...

「美しい村」を実現するための学習

住民参加で!!

- ・ 景観保全・活用
- ・ 再生可能エネルギー
- ・ 美しい村開発
- ・ ツーリズム交流促進

↓

移住促進

	水	木	金
5/	26	27	28

委員会の方向性・内容の話し合い

→ 対話・交流の場

(移住者)

→「学」の場

→ がんばる地域補助金

「地域活動が生まれた場所」

10年後のミライ

→「命令」として...

空主家利活用 → 税金対応で
→ 空主家定ギ
姉「交流」 = 住民活動で！

地域住民がホウレンソウ”

視サツ先が"そう"した。

一ノノが「カ、と持つ。

仲間づくりの場

● 里... (0 世帯 理由) 移住者が人々と呼ばれ、

6 対峙事例

茶番「ひのき」

自來經濟

地產地消

地城肉

ex) 未十一制度

關係

関心

抄録

$$1 - 1 = 4/3$$

(2) $\frac{1}{2} = \frac{1}{2}$

以上